



令和6年9月24日  
釧路開発建設部

## 「旧岩保木水門」が「土木学会選奨土木遺産」に認定！

地域の発展に寄与した釧路川を象徴する歴史的土木施設として、「旧岩保木水門」が令和6年度土木学会選奨土木遺産に認定されました。

### ○認定概要

名称：旧岩保木水門（きゅういわぼつきすいもん）

所在地：北海道釧路郡釧路町トリトウシ原野

竣工年：1931年（昭和6年）

認定理由：旧岩保木水門は、新釧路川（釧路川新水路）整備に伴い、釧路川へ分水し、水利水運の便を計ること等により、地域の発展に寄与した釧路川を象徴する土木施設であり、北海道で昭和初期に建設された最古の木造上屋の鉄筋コンクリート造水門です。

※今年度、当管内において別海町「<sup>おくゆきうす こうつうしせつぐん</sup>奥行臼の交通施設群」も認定され、これまでに「新釧路川」（平成26年）、「標津橋」（令和4年）とあわせて4件が認定されています。

※土木学会選奨土木遺産の認定制度は、土木遺産の顕彰を通じて、歴史的土木建造物の保存に資することを目的として平成12年度に創設されました。公益社団法人土木学会では、土木学会選奨土木遺産委員会を設け、社会へのアピール、土木技術者へのアピール、まちづくりへの活用など促すことを目的に近代土木遺産（原則として、竣工後50年を経過したもの）を対象として、土木学会選奨土木遺産の認定を行っております。

（土木学会選奨土木遺産ウェブサイト [https://committees.jsce.or.jp/doboku\\_isan/](https://committees.jsce.or.jp/doboku_isan/)）

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

治水課 課長 渡邊 一靖 電話：0154-24-7250（内線 3291）

治水課 流域治水対策専門官 稲垣 乃吾 電話：0154-24-7250（内線 3288）

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



旧岩保木水門は、新釧路川(釧路川新水路)整備に伴い、平水時には木材運搬等の用途で釧路川へ分水し、水利水運の便を計ること等の目的で、1927年(昭和2年)から1931年(昭和6年)に建設された水門です。(北海道で昭和初期に建設された最古の木造上屋の鉄筋コンクリート造水門)

その後、釧網線が開通したことで、木材の輸送手段は鉄路、陸路に代わっていき、水門の利用は1940年(昭和15年)頃までで、その後は水門は通年閉じたまま運用されてきた。1985年(昭和60年)に、堤防改良とともに新たに水門を建設(現在の岩保木水門)により、1991年(平成3年)に旧水門はその役割を終えたが、広大な湿原の中のシンボルとして釧路川カヌーの終着点、インフラツーリズムの見学施設などの観光拠点として活用されている。



旧岩保木水門全景



旧岩保木水門位置図

出典:北海道地図株式会社

